

2024（令和6）年度第1回（通算第34回）（臨時）評議員会議事録

一般財団法人国際法学会

1. 日 時：2024年4月7日（日） 10時～10時52分
2. 場 所：当法人主たる事務所、Zoomによる実施
3. 出席評議員：（評議員会会長）中川淳司、（評議員会副会長）桐山孝信、（評議員）青木清、大島美穂、織田有基子、柏木昇、古城佳子、酒井哲哉、佐藤哲夫、須網隆夫、道垣内正人、中谷和弘、御巫智洋
以上13名、Zoomにより参加
- 出席理事：（代表理事）植木俊哉、（事務局長）新井京 以上2名、Zoomにより参加
- 出席監事：なし
- 陪席：（事務補佐）岡田陽平、佐俣紀仁 以上2名、Zoomにより参加

4. 議事の内容

1) 報告事項

- 1 2024年度事業計画に関する件
- 2 2024年度予算に関する件
- 3 国際法外交雑誌デジタル化作業の経過に関する件
- 4 研究大会のあり方をめぐるアンケート調査に関する件
- 5 文生書院との契約に関する件
- 6 その他

2) 議決事項

- 第1号議案 第4期評議員の選任に関する件
第2号議案 第7期理事および第4期監事の選任に関する件
第3号議案 その他

5 議事要旨

開催に先立ち、定款第22条1項および2項に基づき定足数が確認され、議決に加わることができない議長を除く12名の評議員が参加していることから、議決に加わることのできる評議員14名の過半数（8名）が出席していることが確認された。議長は、本日の理事会は、Zoomを利用して行う旨を述べ、出席者が一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いのできる状態となっていることを確認の後、評議員会の開会を宣した。

つづけて、前回2023（令和5）年度第1回（通算第33回）評議員会（臨時）の議事録の確認が行われた。

本臨時評議員会の議事録の記名押印につき、定款第25条により、中川評議員会会長並びに指名により桐山副会長がこれを行うことを承認した。

1) 報告事項

1 2024年度事業計画に関する件

新井事務局長より、資料に基づき、2024年2月12日に開催された理事会にて2024年度事業計画が承認されたことが報告され、あわせて同事業計画の概要について説明がなされた。

2 2024年度予算に関する件

新井事務局長より、西村会計部長の代理として、資料に基づき、2024年2月12日に開催された理事会にて2024年度予算が承認されたことが報告され、あわせて予算の概要について説明がなされた。

3 国際法外交雑誌デジタル化作業の経過に関する件

新井事務局長より、『国際法外交雑誌』113巻以降の巻号が2023年12月よりJ-stage上で公開されていること、また112巻以前の巻号については、国立国会図書館での所定の手続を経て、2024年末頃をめどに公開予定であることが報告された。

4 研究大会のあり方をめぐるアンケート調査に関する件

植木代表理事より、資料に基づき、国際法学会の研究大会のあり方に関するアンケートの実施（2023年夏頃）とその結果について説明がなされ、同アンケートの結果を受けて代表理事の諮問機関として新たに作業部会を設置したことが報告された。同作業部会の任務は、今後の研究大会の開催形態に関する選択肢を2024年6月頃までに検討し、代表理事に答申することである。

出席評議員から、新たに設置された作業部会での検討内容や、今後決定される新たな方針の適用開始時点について質問があった。植木代表理事より、アンケートでは対面・オンラインの併用という意味でのハイブリッド開催への要望が一定程度示されたこと、また、作業部会では、このような要望に応えた開催形態を含めて具体的な検討を進めていることが説明された。さらに、2024年9月の研究大会は対面のみで開催する予定であり、新たな方針に基づく研究大会が開催されるのは早くても2025年以降であるとの回答がなされた。

5 文生書院との契約に関する件

新井事務局長より、『国際法外交雑誌』のバックナンバーおよび復刻版等にかかる文生書院との契約関係について、その経緯と現況を含めて説明がなされ、理事会の承認を得て、2024年2月20日に、国際法学会と文生書院との過去の契約文書を終了し、この間の双方の債権・債務を相殺する内容の和解合意を締結したことが報告された。

6 その他

なし

2) 議決事項

第1号議案 第4期評議員の選任に関する件

中川評議員会会長より、定款第16条により、現在の評議員は、2024年6月に開催される予定の定時評議員会の終結と同時に任期満了し退任することとなるため、その改選の必要がある旨が述べられ、評議員選任規程第4条および5条に基づき、2023年9月4日から6日まで実施された会員への意見聴取に妥当な考慮を払いつつ、国際法、国際私法、国際政治・外交史の3つの専門分野のバランス等を考慮し、新しい評議員候補者の原案が下記の通り示された。

審議の結果、定款第22条1項および2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く全ての評議員（12名）の賛成により、原案通り議決された。

【議決事項】

定款第14条1項により、次の者を一般財団法人国際法学会第4期評議員として2024年6月開催予定の定時評議員会の終結をもって選任する。

評議員	大島 美穂	津田塾大学教授
評議員	長 有紀枝	立教大学教授
評議員	織田 有基子	日本大学教授
評議員	川村 明	アンダーソン・毛利・友常法律事務所顧問
評議員	黒神 直純	岡山大学教授
評議員	河野 俊行	九州大学名誉教授
評議員	齋木 尚子	外務省参与
評議員	篠原 初枝	早稲田大学教授
評議員	高杉 直	同志社大学教授
評議員	高村 ゆかり	東京大学教授
評議員	立松 美也子	共立女子大学教授
評議員	中谷 和弘	東海大学教授
評議員	古谷 修一	早稲田大学教授
評議員	御巫 智洋	外務省国際法局長
評議員	森川 幸一	専修大学教授

以上 15名

第2号議案 第7期理事および第4期監事の選任に関する件

中川評議員会会長より、定款第31条1項により、現在の理事は2024年6月に開催される予定の定時評議員会の終結と同時に任期満了し退任することとなるため、その改選の必要がある旨が述べられ、理事選任規程第5条および6条に基づき、2023年9月4日から6日まで実施された会員への意見聴取の結果および国際法、国際私法、国際政治・外交史の3つの専門分野に妥当な考慮を払い、新しい理事候補者の原案が下記の通り示された。

出席評議員より、理事候補者の略歴等について質問があり、新井事務局長および出席評議員から補足説明がなされた。

中川評議員会会長より、定款第31条2項により、現在の監事も、2024年6月に開催される予定の定時評議員会の終結と同時に任期満了し退任することになるため、その改選の必要がある旨が述べられ、新しい監事候補者の原案が示された。

審議の結果、定款第22条1項および2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除くすべての評議員（12名）の賛成により、原案通り議決された。

【議決事項】

定款28条1項に基づき、次の者を一般財団法人国際法学会第7期理事として2024年6月開催予定の定時評議員会の終結をもって選任する。

理事 青木 節子	慶応義塾大学教授
理事 阿部 達也	青山学院大学教授
理事 新井 京	同志社大学教授
理事 石田 淳	東京大学教授
理事 大平 真嗣	外務省国際法局国際法課長
理事 北澤 安紀	慶應義塾大学教授
理事 下谷内 奈緒	津田塾大学講師
理事 玉田 大	京都大学教授
理事 寺谷 広司	東京大学教授
理事 西 平等	関西大学教授
理事 西村 弓	東京大学教授
理事 濱本 正太郎	京都大学教授
理事 萬歳 寛之	早稲田大学教授
理事 前田 直子	京都女子大学教授
理事 水島 朋則	名古屋大学教授
理事 森田 章夫	法政大学教授
理事 森 肇志	東京大学教授

理事 山田 哲也

南山大学教授

理事 横溝 大

名古屋大学教授

以上 19名

定款第 28 条 1 項に基づき、次の者を一般財団法人国際法学会第 4 期監事として 2024 年 6 月開催予定の定時評議員会の終結をもって選任する。

監事 都留 康子

上智大学教授

監事 真山 全

大阪学院大学教授

以上 2名

第 3 号議案 その他 該当事項なし

【議決事項】 なし

本日の Zoom を利用した評議員会は、即時・双方向性が満たされており、終始異状なく審議が行われた。

以上をもって議案の審議が終了したので、10 時 52 分に本評議員会を閉会した。

以上